

校内研究の実際

「他教科等とつなぐ道徳科の授業づくり」

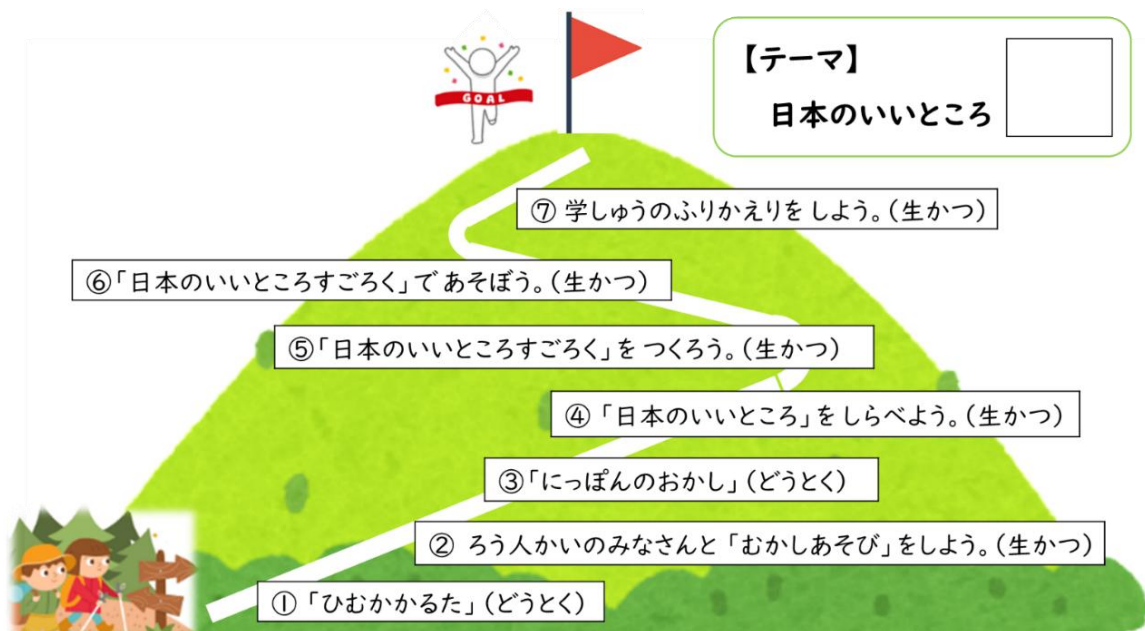
【1年生の実践①（11～12月実施）】

学習計画（15時間）

【テーマ】 日本のいいところ

【ねらい】 昔遊びや和菓子を知ること、日本に昔から伝えられているものに興味をもち、そのよさを進んで調べ、日本の伝統や文化を大切にしたいという心情を育てる。

| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
|-----|---------------------------------------|----|---------------------------------------|
| 道徳科 | 「ひむかかると」 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度) | 1 | ○地域や郷土には、みんなに自慢したいものや場所がたくさんあることに気づく。 |
| | 「にっぽんのおかし」 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度) | 1 | ○日本のお菓子がもつよさや工夫を知ること、日本の伝統や文化に興味をもつ。 |
| 生活科 | 「むかしあそび」をしよう | 4 | ○いろいろな昔遊びを体験して、そのよさを感じる。 |
| | 「日本のいいところ」をしらべよう | 4 | ○自分が調べたいテーマを考え、グループごとに調べてまとめる。 |
| | 「日本のいいところすごろく」をつくろう | 3 | ○調べたことを書き入れて、すごろくを作る。 |
| | 「日本のいいところすごろく」であそぼう | 1 | ○他のグループが作ったすごろくで遊びながら、日本の伝統や文化を知る。 |
| | 学しゅうのふりかえりをしよう | 1 | ○学習の振り返りを書く。 |



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|---|-------|-------------|---------------|--------|
| ① 日本には、おかしからつたわる いいものが たくさんあることに 気づいた。 | 77.6% | 16.3% | 6.1% | 0% |
| ② じぶんが しらべたいことを がんがえることが できた。 | 69.4% | 24.5% | 6.1% | 0% |
| ③ すすんで しらべたり、おかしあそびや すごろくづくりをしたり することが できた。 | 75.6% | 20.4% | 4.0% | 0% |
| ④ これからも 日本のいいところをしらべたり、たいせつにしたりしようと おもった。 | 77.6% | 18.4% | 2.0% | 2.0% |

成 果

- ・単元全体の学習過程がよかった。道徳「ひむかかると」と「にっぽんのおかし」の学習も効果的だった。
- ・昔遊びで老人会の方と触れ合うことができ、その後も昔遊びを進んでする児童が多かった。
- ・日本に昔から伝わるものをたくさん知り、興味をもつことができた。

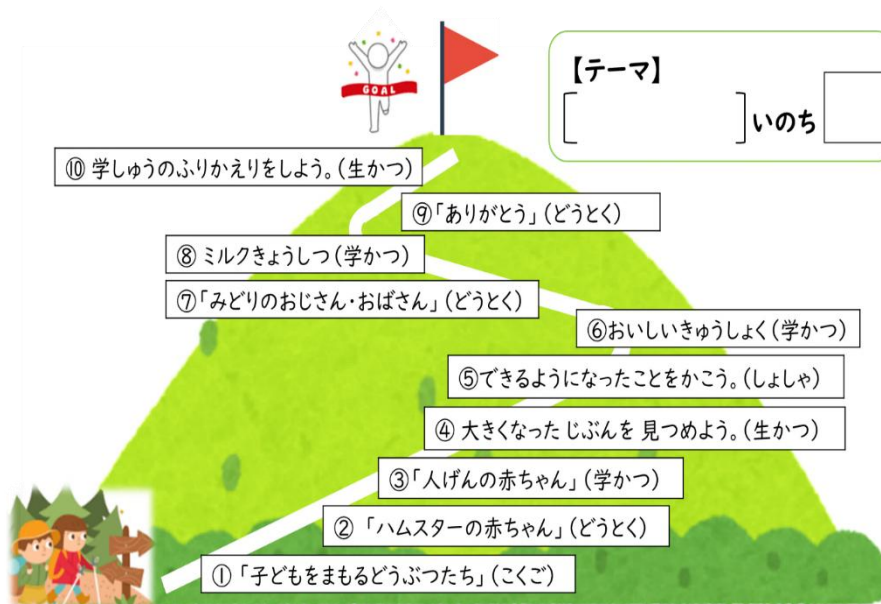
課 題

- ・「にっぽんのいいところ」の調べ学習をしたが、調べるテーマが広く、1年生には難しかったので、実際に調べるテーマはもう少し絞った方がよかった。
- ・

【1年生の実践②（1～2月実施）】

学習計画（21時間）

| 【テーマ】 []いのち | | | |
|---|--------------------------------|----|--|
| 【ねらい】 動物や人間の命の誕生や育っていく過程を知り、生命の尊さを感じると共に、自分の成長が様々な人やものによって支えられていることを知り、感謝の気持ちをもつ。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | 「ハムスターの赤ちゃん」 (D 生命の尊さ) | 1 | ○小さな命の誕生や成長の様子を知り、その命を支え応援している者がいることを感じる。 |
| | 「みどりのおじさん・おばさん」 (B 感謝、B 礼儀) | 1 | ○ボランティアで見守りを続けてくれている人がいることを知る。 |
| | 「ありがとう」 (B 感謝) | 1 | ○日頃様々な場所でお世話になっている人がたくさんいることに気づき、感謝の気持ちを手紙に書く。 |
| 国語科 | 「子どもをまもるどうぶつたち」 | 10 | ○動物たちの子どもの守り方の違いを、比べながら考える。 |
| 書写 | できるようになったよ | 2 | ○自分ができるようになったことを考えて文章にまとめ、丁寧に書く。 |
| 学級活動 | 「人げんの赤ちゃん」 | 1 | ○人間の赤ちゃんの受精から誕生までを知り、生命について考える。 |
| | おいしいきゅうしょく | 1 | ○給食の歴史や給食センターの仕事を知り、給食について考える。 |
| | ミルクきょうしつ (明治の出前授業) | 1 | ○乳牛や酪農家の仕事、牛乳が届くまでの仕組みなどを知る。 |
| 生活科 | 大きくなったじぶんを見つめよう | 2 | ○自分の成長を振り返り、「せいちょうランキング」を作る。 |
| | 学しゅうのふりかえりを しよう | 1 | ○学習の振り返りを書く。 |



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|--|-------|-------------|---------------|--------|
| ①「いのちのひみつ」や いのちがまもられていることに 気づいた。 | 80.0% | 11.2% | 4.4% | 4.4% |
| ② じぶんのせいちょうを がんがえることが できた。 | 73.4% | 20.0% | 4.4% | 2.2% |
| ③ じぶんのいのちやせいちょうを 見まもってくれている人に、すすんで「ありがとう」の気持ちを つたえることができた。 | 86.7% | 2.2% | 4.4% | 6.7% |
| ④ いのちを まもるために、なにかをした。(これからしたいことが できた。) | 71.1% | 15.5% | 6.7% | 6.7% |
| 虫や花を助けた、交通安全を守る、ご飯をもりもり食べる・残さず食べる、いじめられている人を助ける など | | | | |

成果

- ・ 単元の中に道徳を3つ入れたが、どれも効果的だった。
- ・ テーマを「[]いのち」にして、最後に[]に入る言葉を各自考えさせたのはよかった。(児童が入れた言葉… みんなの たいせつな ぽかぽか ぴかぴか まもる 小さな 大きな いろいろなど)
- ・ 自分の成長やそれを支えてくれている人のことを考え、感謝の気持ちを伝えることができた。

課題

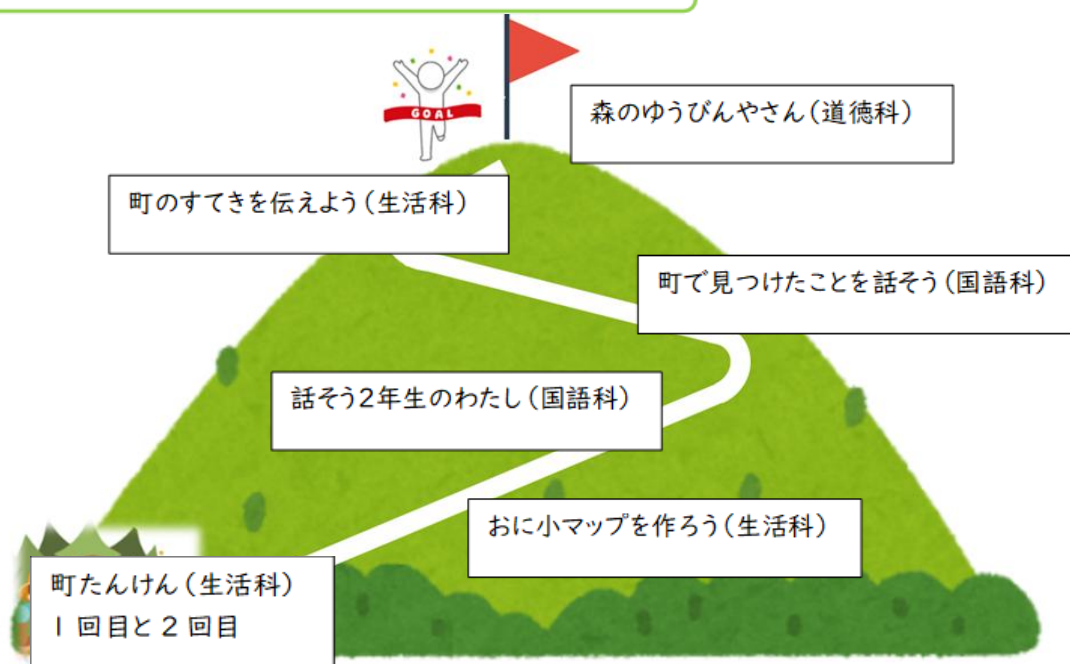
- ・ 「④おおきくなったじぶんを見つめよう」「⑤できるようになったことをかこう」は、「⑨ありがとう」の前に行う方がよかった。
- ・ テーマは、「[]いのちとわたしのせいちょう」にした方が、ねらいがはっきりする。

【2年生の実践①（10月実施）】

学習計画（26時間）

| 【テーマ】 もっと知りたい わたしたちのおにづか校区。 | | | |
|---|----------------------------|----|---|
| 【ねらい】 鬼塚小校区の建物や働く人について知り、自分達の生活を支える働く人々の仕事や思いを知ろうとする態度を養う。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | 森のゆうびん屋さん （C 勤労・公共の精神） | 1 | ○働く人について想起しながら、仕事をする ことは誰かの役に立ち、喜びに繋がっている ことに気付くと共に自分も誰かの役に立ち たいという心情を育てる。 |
| 生活科 | 町たんけん1回目・2回目 鬼小マップを作ろう | 14 | ○2回目の町探検では、1回目に行けなかつ た場所のことや1回目で気になったことを 詳しく知って、おに小マップを作る。 |
| | 町のすてきを伝えよう | 4 | ○調べて分かった町のすてきなところを鬼小 マップにまとめ、1年生に発表する。 |
| 国語科 | 話そう2年生のわたし 町で見つけたことを話そう | 7 | ○心に残ったことや気持ちを入れて、工夫し て話す。 |

【テーマ】もっと知りたい わたしたちのおにづか校区。



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|---|-------|-------------|---------------|--------|
| 鬼塚小学校の周りにはいろいろな建物があり、そこで働く人がいることに気付くことができた。 | 83.8% | 11.9% | 2.4% | 2.4% |
| 自分の知りたいことや、伝え方、まとめカードの内容などを考えることができた。 | 33.3% | 54.8% | 11.9% | 0% |
| 働く人の思いを感じ、鬼塚小学校の周りなどについて もっと知りたいと思った。 | 61.9% | 30.9% | 4.8% | 2.4% |

成 果

- ・ほとんどの児童が鬼塚小学校の周りにはいろいろな建物があり、そこで働く人々がいることに気付くことができた。
- ・自分の知りたいことなどを考え、やる気をもって学習に臨むことができた。
- ・インタビューをしたり、説明を聞いたりすることで、働く人の思いに気付くことができた。
- ・これからも鬼塚校区のことを知りたい気持ちが高まった。

課 題

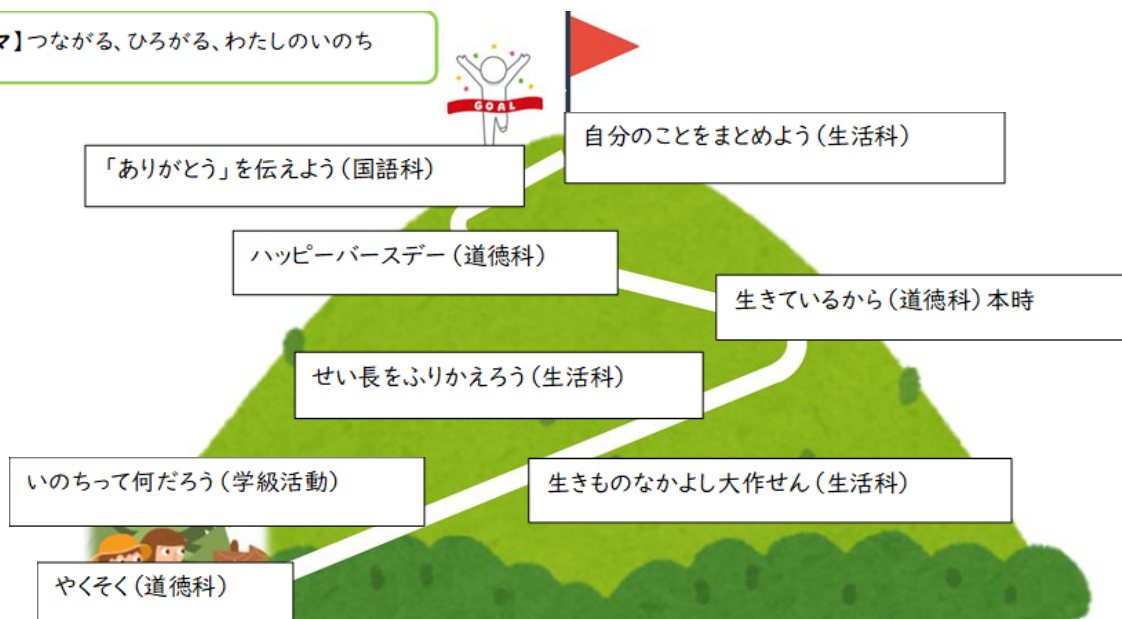
- ・インタビューの内容や仕方など、グループで準備に差があった。
- ・例えば、働く人の思いに触れられるようなものなど道徳の教材をあと一つぐらい入れられるとよかった。
- ・マウンテンの作り方（他教科とつないだ計画）に工夫が必要だった。学習する時期が近い方がよいものがあった。
- ・相手意識をもって学習のゴールを設定すると、さらに伝えたい気持ちが高まると思われる。
- ・まとめるときに、ICTを活用するなど工夫するとよい。写真日記、オクリンクなど。

【2年生の実践②（12月実施）】

学習計画（21時間）

| 【テーマ】 つながる、ひろがる、わたしのいのち | | | |
|--|-----------------------|--------|--|
| 【ねらい】 いろいろないのちについて考え、日々変化し成長していることに気付くと共に感謝の気持ちを伝えようとする心情を育てる。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時 数 | 学習活動 |
| 道徳科 | やくそく (D 生命の尊さ) | 1 | ○自分の命は多くの人の思いを受けていることに 気付き、命について考える。 |
| | 生きて いるから (D 生命の尊さ) | 1 | ○「手のひらを太陽に」の歌詞を通して、生きて いることやいのちについて考える。 |
| | ハッピーバースデー (B 感謝) | 1 | ○周囲の人の支えに気付き、感謝の気持ちを高める。 |
| 学級活動 | いのちってなんだろう | 2 | ○助産師の話の聞いたり体験したりして、 いのちについて考える。 |
| 生活科 | 生きものなかよし大作せん | 4 | ○いろいろな生き物を捕まえて観察したり育てたり する。 |
| | せい長した自分の ことをふりかえろう | 3 | ○自分でできるようになったことや内面の成長に気 付く。 |
| | せい長した自分の ことを見つめよう | 5 | ○自分の成長についてまとめる。 |
| 国語科 | 「ありがとう」を伝えよう | 4 | ○今までの学習をふりかえり、感謝の手紙を書く。 |

【テーマ】つながる、ひろがる、わたしのいのち



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|--------------------------------------|-------|-------------|---------------|--------|
| 自分や自分の周りにはいろいろないのちがあることに気づいた。 | 68.3% | 24.4% | 7.3% | 0% |
| いのちや、成長した自分のことを考えることができた。 | 65.8% | 26.8% | 2.4% | 4.9% |
| いのちを大切にしたり、まわりの人へ感謝の気持ちを伝えたりしたいと思った。 | 63.4% | 24.4% | 12.2% | 0% |

成果

- ・ほとんどの児童が、自分や自分の周りにいのちがあることに気付くことができた。
- ・いのちや自分の成長について考えることができた。
- ・お家の方へのインタビューや成長ブックの作成を通して周りとの関わりに気付くことができた。
- ・相手意識をもって取り組んだことで、周りの人への感謝を伝えたい気持ちが高まった。
- ・「ありがとう」という気持ちや具体的な感謝の内容を考えて伝えられるようになった。

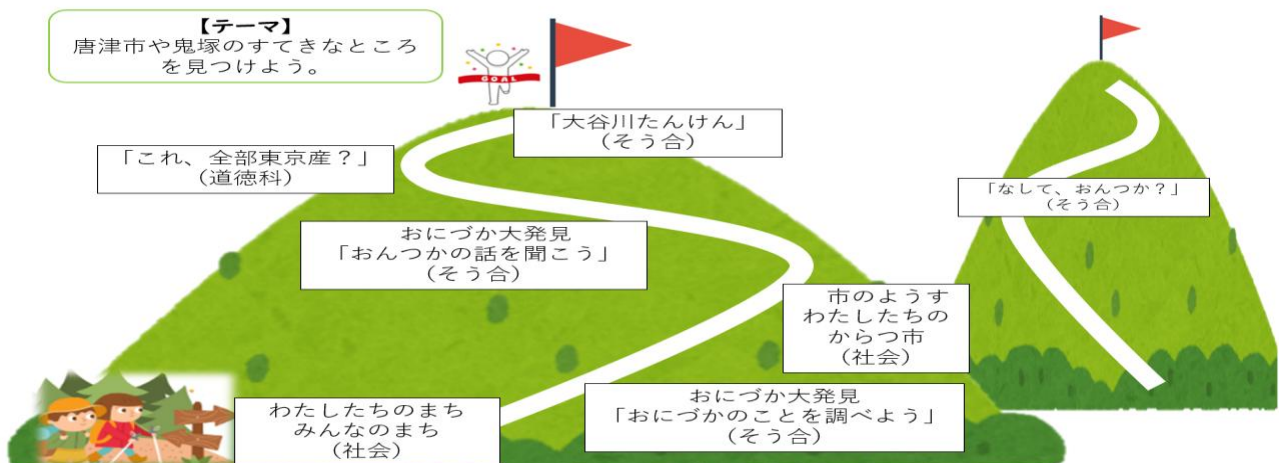
課題

- ・生き物にふれる機会があったが、学習が自分事として捉えられていない児童が見られた。取組を自分の事として捉えることに個人差があった。
- ・マウンテンの中の道徳と他教科のつなぎ方がもう少し工夫できるとよかった。学習を実施する時期をすぐ近くにされた方が、授業の深まりに効果的だったと感じるところがあった。

【3年生の実践①（9月実施）】

学習計画（32時間）

| 【テーマ】 唐津市や鬼塚のすてきなところを見つけよう。 | | | |
|--|---------------------------------------|----|--|
| 【ねらい】 自分の住んでいる地域のすばらしさを知り、郷土への誇りや愛着を育む。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | 地域を語ろう | 1 | ○自分が住んでいる地域について、サイコロトークをする。 |
| | これ、全部東京産 C 伝統と文化の尊重、国 や郷土を愛する態度 | 1 | ○私たちに、地元のことを大切にしたり、守っていこうとしたりする気持ちがあることを理解し、自分の郷土を大切にしようとする態度を育てる。 |
| 社会科 | わたしたちのまち みんなのまち | 5 | ○鬼塚の校区について、分かったことや知っていることを白地図にまとめる。 |
| | 市のようす わたしたちの唐津市 | 10 | ○唐津市の特徴や地域ごとの特産品などについて知る。 |
| 総合的な 学習の時間 | おにづか大発見 | 10 | ○大谷川や山本駅など地域のことを調べ、分かったことを発表する。 ○「なして、おんつか？」の物語の内容や始まりについて話を聞く。 |
| | 大谷川たんけん | 6 | ○身近な地域の歴史や言い伝えを知り、郷土に愛着をもつ。 ○郷土について学んだことを人形劇で発表する。 |



アンケート結果

| | | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|-----|-------------------------------------|-------|-------------|---------------|--------|
| 気づく | 唐津市に特産物（とくさんぶつ）や伝統（でんとう）があることに気づいた。 | 41.0% | 54.0% | 2.5% | 2.5% |
| 考える | 自分が調べたいことや発表する方法を考えることができた。 | 41.0% | 41.0% | 17.9% | 0% |
| 主体的 | 進んで調べたり、活動したりすることができた。 | 64.1% | 28.2% | 5.2% | 2.5% |
| | 唐津市やおにづかの伝統を大切にしようと思った。 | 84.6% | 15.4% | 0% | 0% |

成 果

- ・マウンテンに他の学習との関連が示されていたので、つながっていることが分かった。
- ・もうひとつのマウンテンが「なして、おんつか？」への意欲となっている。
- ・3年生の大きな行事である「なして、おんつか？」や総合的な学習の時間の調べ学習、社会科の学習と関連させて、取り組みやすい教材である。
- ・「唐津市や鬼塚の伝統を大切にしようと思った」という質問に「できた」「だいたいできた」と答えた児童は100%となっており、唐津くんちや大谷川を大切にしようと思った児童がほとんどである。社会科や総合的な学習の時間に学習したことを関連させて学習した児童が多いことが分かる。

課 題

- ・2学期になってから、マウンテンを掲示し、1学期の学習を振り返りからの取り組みとなった。取り組みの期間が長いので、子ども達にどの段階で意識させるのかは難しい。
- ・総合的な学習の時間での調べ学習は1学期に取り組んでいるため、調べたり伝えたりしたいという意欲があまり高まっておらず、「あまりできなかった」「できなかった」と答えた児童の割合がやや多い。

【3年生の実践②（1月実施）】

学習計画（12時間）

| 【テーマ】 お世話になっている人に、感謝の気持ちをつたえよう。 | | | |
|---|-------------------|----|--|
| 【ねらい】 自分の生活や安全を守ってくれている人たちがいることに気づき、感謝の気持ちを伝えようとする心情を育てる。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | いつもありがとう | 1 | ○自分の生活はたくさんの努力とお世話によって成り立っていることを理解し、尊敬と感謝を伝えたい気持ちを高める。 |
| 社会科 | 事故や事件から くらしを守る | 8 | ○事故や事件からわたしたちの安全を守るために、どのようなはたらきをしているのかを知る。 ○安全を守るために自分たちができることについて考える。 |
| 学級活動 | みどりのおじさん・ おばさん | 1 | ○緑のおじさんやおばさんの思いやしてもらっていることについて考える。 |
| | 感しゃの気持ちを 伝えよう | 2 | ○駐在所の方や緑のおじさんなどお世話になっている人に感謝の気持ちを伝える。 |



アンケート結果

| | | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|-----|--|-------|-------------|---------------|--------|
| 気づく | 自分の生活や安全を守ってくれている人たちやその仕事の内容が分かった。 | 67.5% | 30.0% | 2.5% | 0% |
| 考える | お世話になっている人に感謝したい内容や感謝を伝える方法を考えることができた。 | 50.0% | 40.0% | 7.5% | 2.5% |
| 主体的 | お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えることができた。 | 65.0% | 25.0% | 7.5% | 2.5% |

成果

- ・3年生は、総合的な学習の時間や社会科見学などでたくさんの外部の方にお世話になっているので、1学期のことから振り返って考えることができた。
- ・「いろいろな人に守られていることが分かった」「みどりのおじさん、おばさんにありがとうを伝えたい」「手紙で感謝を伝えた」などの感想があり、お世話になっている人や感謝についてしっかり考えることができていた。

課題

- ・学習の途中で給食週間もあったので、マウンテンに取り入れてもよかった。
- ・「みどりのおじさん、おばさん」を2年生の道徳で学習していたが、復習も兼ねてマウンテンに入れていた。「いつもありがとう」の学習をして、すぐに思い出したようで1時間とる必要はなかった。
- ・感謝の気持ちを伝えるために手紙を書いたり、直接お礼を言ったりしたことを想起させたが、「あまりできなかった」「できなかった」と答えた児童が10%いるので、もっと感謝の気持ちを伝えたい気持ちを高めて、主体的に活動させる必要がある。

【4年生の実践①（12月実施）】

学習計画（14時間）

| 【テーマ】 | | | |
|--------------------------------------|----------------------|----|---|
| 発信！佐賀県の自まんの人・もの・こと | | | |
| 【ねらい】 | | | |
| 郷土の産業、自然、伝統、人物などについて調べ、郷土への誇りや愛着を育む。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 総合的な学習の 時間 | 佐賀のよかところ探し | 4 | ○県内の産業、観光、自然、伝統、文化について調べる。 |
| 総合的な学習の 時間 | 発信！佐賀の自慢の人・ もの・こと | 4 | ○佐賀の自慢の人・もの・ことについてまとめ、 発信する。 |
| 道徳科 (本時) | 100年残る仕事 | 1 | ○もっとよくなりたいという思いが目標の実 現につながることを理解し、目標に向かって粘 り強くやり抜くための判断力を育てる。 |
| 道徳科 | 唐津のまつり | 1 | ○唐津の様々な祭りについて知り、それを受け 継いでいる人々の思いを考え、伝統を守ってい きたいという心情を育てる。 |
| 社会科 | きょう土の伝統・ 文化と先人たち | 4 | ○郷土に残る伝統や祭り、文化財などについて 調べる。 |

【テーマ】

発信！佐賀県の自まんの
人・もの・こと



【ふり返り】

発信！佐賀の自まんの人・もの・こと（総合）

唐津のまつり（道徳）

100年残る仕事（道徳）

佐賀のよかところさがし（総合）

きょう土の伝統・文化と先人たち（社会）



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまりできな かった | できなかった |
|---------------------------------|--|-------------|---------------|--------|
| 佐賀県の自まんの人・もの・ことに 気付くことができた。 | 78.1 | 15.6 | 6 | 0 |
| 自分が調べたいことや発表する方法 を考えることができた。 | 65.6 | 18.7 | 15.6 | 0 |
| 進んで調べたり、発表の準備をし たりすることができた。 | 62.5 | 28.1 | 9 | 0 |
| 佐賀県の良さを大切にしていこうと 思った。 | 90.6 | 9 | 0 | 0 |
| 大切にしようと思ったことはどんな ことですか。 | ・佐賀県には、よい所がたくさんあることに気付くことが できた。家族にも調べたことをはなしてみたい。 | | | |
| 学習した感想を書きましょう。 | ・佐賀県には、意外と知られていない立派な人がたくさん いることがわかった。ほかにもどんな人が佐賀県出身なの か自学で調べていきたい。 ・佐賀には何も無いと思っていたけれど、たくさんのみ力 的な場所やものや歴史があったので、もっとみんなに知ら せたいと思いました。 | | | |

成 果

- ・佐賀県のよさをたくさん発見するというゴールが明確になることで、社会科・総合的な学習の時間・道徳科の教科横断的な学習活動をスムーズに行うことができた。
- ・オクリンクプラスを使うことで、これまで調べたことがカードとして残り、新たに調べるときに資料として使うことができた。
- ・道徳の学習に向かう姿勢が、この単元に関わる教材の場合は、明らかに意欲的だった。はじめから興味をもって取り組む児童が多いように感じた。

課 題

- ・道徳科の説話が社会科的になりすぎないように、注意が必要だった。道徳科では、その時間の価値項目についての説話をすべきであった。
- ・道徳科の時間にオクリンクプラスを使うことは善し悪しがあった。タブレットの画面ばかりを見て話し合いをしてしまうので、道徳では、児童の目と目が合うような話し合いができるようにしていきたい。
- ・社会科と総合的な学習の時間で行うことの境目があいまいになりつつあったので、社会科では知識・技能中心、総合的な学習の時間では、追求学習を中心に行う必要があった。

【4年生の実践②（1月実施）】

学習計画（22時間）

| 【テーマ】 わたしたちにできる福祉 | | | |
|--|-----------------------|----|--|
| 【ねらい】 福祉について考えることを通して、自分の周りには様々な困難を抱えていることに気付き、自分たちにできることを考えることができる。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活 |
| 総合的な学習の 時間 | 福祉ってなに？ | 6 | ○福祉について知り、目や耳が不自由な人が生活の中で使っているものについて調べてまとめる。 |
| 総合的な学習の 時間 | 特別支援学校の子ども達 と交流しよう | 10 | ○特別支援学校の子どもたちと交流することを通して、だれもが遊びやすく楽しめる活動を考え、工夫して準備をする。 |
| 総合的な学習の 時間 | 福祉教室 | 2 | ○介護福祉士の仕事や認知症について知り、自分たちにできることを考える。 |
| 道徳科 (本時) | 三つのつつみ | 1 | ○人の気持ちを想像し、自分にできることを進んでする思いやりの心情を育てる。 |
| 総合的な学習の 時間 | 私たちにできる福祉を考えよう | 3 | ○これまで学習してきたことを生かして、自分たちにできる福祉を考え、まとめる。 |

【テーマ】

わたしたちにできる福祉

【ふり返り】



三つのつつみ(道徳)

私たちにできる福祉(総合)

福祉教室(総合)

交流会をしよう(総合)

福祉ってなに?(総合)



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまりできな かった | できなかった |
|---------------------------------------|---|-------------|---------------|--------|
| 福祉につながる人・もの・ことに気付くことができた。 | 75 | 25 | 0 | 0 |
| 交流でみんなが楽しめるような活動を考えることができた。 | 76.5 | 17.1 | 6 | 0 |
| 進んで準備をしたり、意見を発表したりすることができた。 | 62.5 | 31.2 | 6 | 0 |
| みんなが幸せに生活できるように、自分たちにできることを考えることができた。 | 70.3 | 15.6 | 14 | 0 |
| 自分はどんなことができそうですか。 | ・困っている人がいたら、声をかけて「何かお手伝いできることはありますか」と言える人になりたいです。 | | | |
| 学習した感想を書きましょう。 | <p>・生活の中にたくさんのバリアフリーがあることがわかりました。とくに点字や手話をもっと知りたいと思いました。</p> <p>・特別支援学校に行って、みんな楽しんで活動してくれたので、がんばって準備をして本当に良かった。</p> | | | |

成果

- ・年間を通して福祉につながる学習をすることで、日常生活の中にあるバリアフリーやユニバーサルデザインに気付く児童が増えた。
- ・教室にラーニングマウンテンを掲示することで、学習のゴールを意識して活動することができた。
- ・福祉は特別なことではなく、人を思いやる気持ちから生まれる行動が大切であることに気づき、普段の自分たちにできることを考え、発表することができた。

課題

- ・ラーニングマウンテンを提示した時期が遅れてしまったため、単元のはじめには提示してゴールへのつながりがわかる学習活動を行っていきたい。
- ・学習のまとめでは、自分にできることをおおまかに考えたが、学級や学校、家族など、場面を意識してできる福祉について考えたほうが、より具体的になったと考える。
- ・高齢者体験などが今年度はできなかったもので、社会福祉協議会などの外部の機関と連携しながら、より体験活動を増やして、困り感をより実感させていければと思う。

【5年生の実践①（10月～11月実施）】

| |
|------------|
| 学習計画（26時間） |
|------------|

【テーマ】 自分の役割をサボらず責任を持ち、班のみんなで協力して楽しいバス旅行にしよう！


【ねらい】 3学期の引継ぎに向けてたてわり班で協力し、影の仕事も本番を迎えるにあたって大事であることに気づく。

| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
|---------------|-------------------|--------------------------|---|
| 道徳科 | 父の仕事 | 1 | ○みんなのために仕事をする楽しさについて考える。 ○かげで支える仕事の大切さに気づく |
| | ふくらんだリュックサック | 1 | ○みんなのために仕事をする楽しさについて考える。 ○見えないところでの努力について考える |
| | 真由、班長になる | 1 <small>(本時)</small> | ○集団で活動する大切さや難しさについて考える。 ○みんなが気持ちよく集団生活をするために大切にしたい心構えについて話し合う。 |
| 学活 | バス旅行の単元計画作り | 1 | ○運動会で付けた力をもとに、バス旅行でどんな力を付けたいか、そのためにどんな仕事をするか考え、リーダーの打ち合わせをする |
| | 学級会 | 1 | ○柱1「バス旅行の約束を決めよう」、柱2「バスの中ですることを考えよう」をもとに約束、バスレクについて考える |
| | バス旅行の準備をしよう | 1 | ○バス旅行の日程やルールを確認する。 ○バスレク、班の目印の準備をする。 |
| | バス旅行 | 6 | ○吉野ヶ里歴史公園 ○勾玉作り |
| | バス旅行のふり返りタイム | 1 | ○バス旅行を通して付けることのできた力と3学期に向けて付けていきたい力について話し合う。 |
| 総合的な 学習の時間 | がんばるーんゲーム | 2 | ○地域の方と協力してゲームをする楽しさを知る ○応援したり、励まし合ったりすることを通して班で協力する大切さを知る |

| | | | |
|------|--------------------|---|-----------------------------|
| 学校行事 | 自然教室 | 6 | ○アウトドアビンゴ ○カッター体験 ○バスレク |
| | 運動会 運動会のふり返りタイム | 5 | ○練習リーダー ○準備・片づけ ○当日の係の仕事 |

【テーマ】
6年生に向けて「自分からチャレンジ ぐんぐん成長～何でも笑顔で引き受ける 言葉づかいに気をつける～」

友達と協力して何にでも挑戦しよう!



11/25 ふり返りタイム

11/21 バス旅行

【バス旅行スローガン】
自分の役割をサボらず、責任を持ち、
班のみんなと協力して楽しいバス旅行にしよう!

☆実行委員()
☆学級会司会団()
☆班長()
☆バスリーダー()
☆タイムキーパー・ふり返りタイム()

11/13 【道徳】「真由、班長になる」

11/11 【総合】がんばるーんゲーム

11/10 【学活】学級会（バス旅行について）

11/6 【道徳】「ふくらんだリュックサック」

10/27 【学活】バス旅行のマウンテンを作ろう

10/23 【道徳】「父の仕事」

10/19 運動会
☆練習リーダー ☆ポスター電話・掲示・回収
☆係打ち合わせ ☆当日の係

10/21 運動会ふり返りタイム

5/30 自然教室

役割を通して付けた力

- ①自分のリーダーに責任を持つ →期限を守る
- ②見られていない仕事もかけて支える
- ③情報共有を必ずする

運動会で付けた力(当たり前にする)

- ・前に堂々と立つ
- ・サボらず打ち合わせに行く
- ・自分から質問する
- ・1人でも行動(友達と×)

アンケート結果

| | できた | だいたいできた | あまりできなかった | できなかった |
|---|-------|---------|-----------|--------|
| リーダーをするために、影での努力も必要であることに気づくことができた。 | 69.6% | 30.4% | 0% | 0% |
| 自分のリーダーの仕事をするために、自分たちで計画を立て期限を守ることができた。 | 65.3% | 21.7% | 13.0% | 0% |
| これからのたてわり遊びや委員会活動でも情報共有・打ち合わせの力を活かしたいと思った | 87.0% | 13.0% | 0% | 0% |

成 果

- ・準備の時から一人一人に役割があったため、期限を守ること、リーダー全員で打ち合わせや報告に行くことなど3学期のたてわり活動や委員会に向けて練習をすることができた。
- ・「真由、班長になる」で学習したことを思い出し、班長としての立ち振る舞いを考える児童が多かった。(サッキーカードのふり返しより)
- ・吉野ヶ里歴史公園で自由時間に公園で遊んだ際に、落ちていたゴミを拾ったり、他校の先生に届けに行ったりする姿が見られ、【実践②】のSDGsに繋げることができた。

課 題

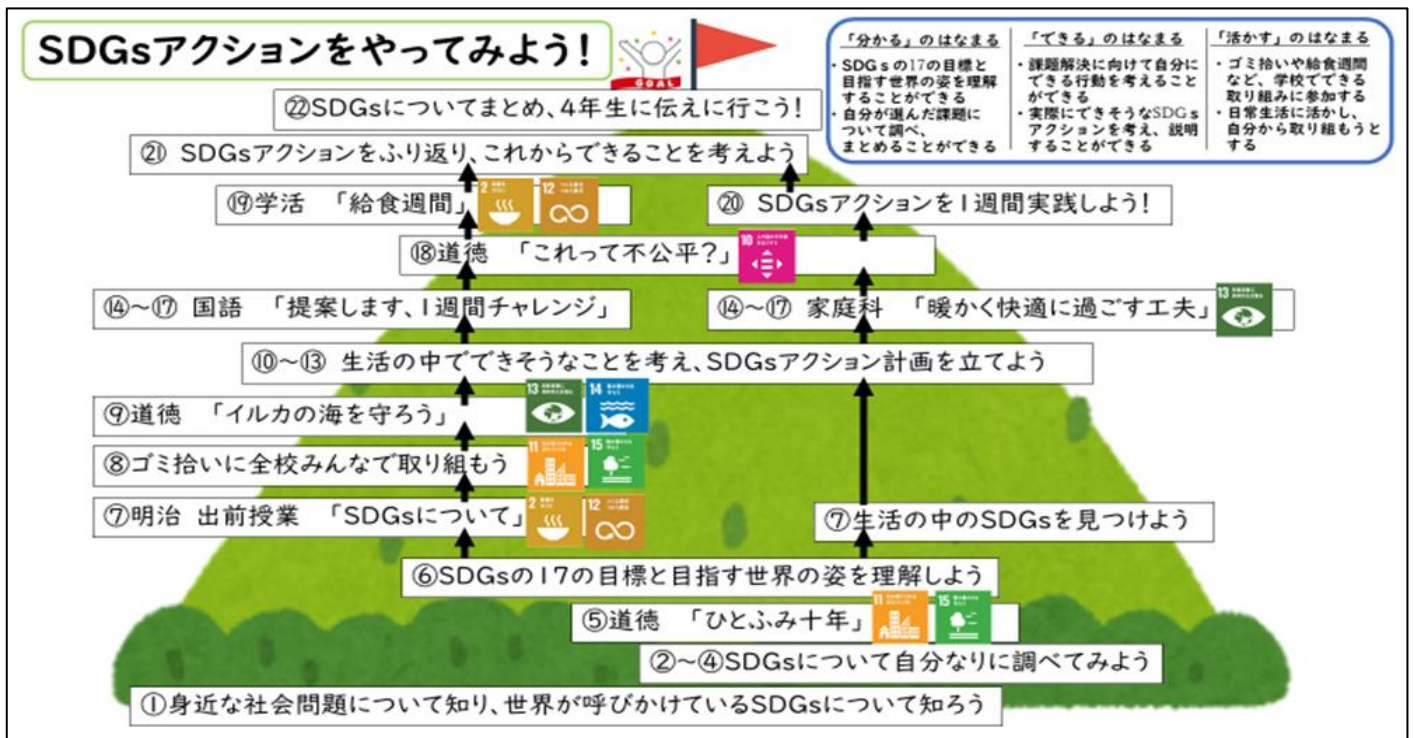
- ・「ふくらんだリュックサック」は【実践②】でする方がSDGsとの繋がりが持てたと思う。

【5年生の実践②（9月～1月実施）】

学習計画（22時間）

| 【テーマ】SDGsを継続して取り組む大切さを知り、生活の中で自分ができる「SDGsアクション」に取り組もう！ | | | |
|--|---------------------|-----------|---|
| 【ねらい】世界が掲げている17の目標について知り、自分たちにできることを行動に起こそうとする | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | ひとふみ十年 | 1 | ○自然は長い年月をかけて現在に至ることを知る。 ○自然を守ることの大切さと難しさに気付く。 |
| | イルカの海を守ろう | 1 (本時) | ○地元の人たちはどんな考えからイルカの海を守っていかうとしているか考える。 ○自然環境を守るために、私たちにどんなことができるか考える。 |
| | これって不公平？ (人権の学習) | 1 | ○「公平」と「平等」の違いを知り、17の目標を達成するためにはどっちであることが求められるか考える。 |
| 国語科 | 提案します、1週間 チャレンジ | 3 | ○SDGsアクション計画の内容を班の友達とお家の人に説明する。 (メモ・原稿を書く、話し方・問い方を工夫) |

| | | | |
|------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|---|
| 家庭科 | 暖かく快適に過ごす工夫 | 2 | ○暖かく過ごす着方・住まい方を知る ○SDG s の何番に当てはまるのか考えながらエアコンなどを使わずに暖かくする工夫を宿題で実践する |
| 学活 | 学校給食週間 | 5日 | ○学校給食週間を通して、12番について考え、給食を通して実践する。 |
| 総合的な 学習の時間 | 身近な社会問題について知り、世界が呼びかけているSDG s について知ろう | 1 | ○社会問題のニュース動画や新聞記事などを通して問題になっていることを知る。 ○問題を解決するためにSDG s があることを知り、SDG s について調べる意欲を持つ |
| | SDG s について自分なりに調べよう | 3 | ○インターネットや本、新聞記事などをもとにSDG s とは何か、どんな目標があるのかを調べる |
| | SDG s の17の目標と目指す世界の姿を理解しよう | 1 | ○自分で調べたことをもとに、SDG s についての理解を深める。 |
| | 明治 出前授業「SDG s について」 | 1 | ○明治が12番を達成するために行っている事業について知る ○明治の方にもらった資料を見ながら、宿題で16番について考える |
| | ゴミ拾いに全校みんなで行こう | 5日 | ○15番を達成するために、自分たちの地域からきれいにし、少しずつでも気づくことが目標達成のためには必要だと気づく。 |
| | 生活の中のSDG s を見つけよう | 1 | ○自分が気になる番号が、生活の中でどのような取り組みをしているのか調べる ○調べたことをもとに、自分が1週間取り組めることを決める。 |
| | 生活の中でできそうなSDG s アクション計画を立てよう | 2 | ○1週間続けられる取り組みを3つ考える。 |
| | SDG s アクションを1週間実践しよう！ | 5日 | ○1週間家で実践をし、取り組みを記録する。 |
| | SDG s アクションの振り返り | 1 | ○実践をしてみて上手くいったこと、続かなかったこと、難しかったことなどを共有 |
| SDG s の学習をまとめ4年生に伝えよう！ | 4 | ○パワーポイントにグループごとにまとめ、4年生に伝えに行く。 | |



アンケート結果

| | できた | だいたいできた | あまりできなかった | できなかった |
|--|-------|---------|-----------|--------|
| 自分が選んだ課題について調べ、SDGsの17の目標と目指す世界の姿を理解できた。 | 87.0% | 8.7% | 4.3% | 0% |
| 世界の課題と自分の身近な課題を考え、SDGsアクション計画を考えることができた。 | 91.4% | 4.3% | 0% | 4.3% |
| SDGsを日常生活の中でもっと実践していきたいと思った。 | 73.9% | 21.8% | 4.3% | 0% |

成果

- SDGsについて理解が深まるにつれて、「平等」だとみんな平和だという考えになる児童がいたので、「これって不公平？」を行えたことが良かった。「平等」と「公平」は違うことが理解でき、SDGsに取り組むにあたって、「公平」を目指すべきだという考えが深まった。
また、家族でタイムでお家の人も4つの場面について話し合ってもらい、話し合ったことを書いてもらったことで、お家の人との議論を通してお家の人と一緒にSDGsについて考えることができた。
- 道徳の4つの心と17の目標をリンクさせながら行ったことで、SDGsは全ての心が必要だと理解する児童が多かった。

課題

- 「合理的配慮」についての道徳の教材があることを学習後に知ったので、SDGsについて考えた時に授業ができればよかった
- ゴミ拾いを1週間行う前に「ふくらんだリュックサック」の授業ができればよかった。

【6年生の実践①（10～12月実施）】

学習計画（26時間）

【テーマ】

夢に向かって進もうプロジェクト～仕事の魅力をさぐる～

【ねらい】

夢に向かって進もうプロジェクトを通して将来の生活に希望をもち、自分の目標に向かって、進んで努力しようとする気持ちを育む。

| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
|---------------|-------------------------|----|---|
| 道徳科 | 上村さんのちょうせん | 1 | ○初めから諦めるのではなく、頑張ることややりがいを感じられることに気付き、何事にも挑戦しようとする態度を育てる。 |
| | 二十五人でつないだ金メダル | 1 | ○それぞれの役割を果たすことで、集団が充実し、その一員としての喜びに気付くことで、自分の役割を果たそうとする心情を育てる。 |
| | 母の仕事 | 1 | ○働くことの喜びや生きがいを感じ、自分も公共のために働こうとする意欲を育てる。 |
| | 地球を一周歩いた男—伊能忠敬— | 1 | ○現状に満足するのではなく、改良したり発展したりさせようとする思いに気付き、夢に向かって進もうとする心情を育てる。 |
| 総合的な学習の 時間 | 仕事について調べよう | 4 | ○インターネットや本で調べたり、お家の方にインタビューしたりしながら、様々な職業について知る。 |
| | 調べた職業を新聞にまとめよう | 5 | ○自分が興味をもった職業について、仕事の内容や魅力などを新聞にまとめる。 |
| | 出前講座 (花の教室・明治乳業・建設業) | 4 | ○それぞれの職業についての話を聞いたり、実際に体験したりしながら、仕事に興味をもつ。 |
| | 調べた職業について紹介しよう | 3 | ○クラスや学年、お家の方に、作成した職業新聞を紹介する。 |
| 図画工作科 | 未来のわたし | 6 | ○未来の自分の姿を思い浮かべ、材料や用具を工夫して作品をつくる。 |



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|---|-------|-------------|---------------|--------|
| 「夢に向かって進もうプロジェクト」を通して、 様々な職業があることに気付くことができた。 | 87.0% | 13.0% | 0% | 0% |
| 仕事の魅力について複数の視点から調べた情 報を取捨選択し、まとめ方や伝え方などを考 えることができた。 | 55.6% | 38.9% | 5.5% | 0% |
| 働くことの意義や働く人の思いを感じ、自分 の目標に向かって進んで努力しようという思い をもつことができた。 | 70.3% | 27.8% | 0% | 1.9% |

成果

- どの項目も、「できた」「だいたいできた」と答えた児童が100%近くいた。その理由として、総合的な学習の時間で職業について興味・関心をもち、道徳の時間で働くことの意義や思いを考える活動を継続して行ったことが効果的だったと考えられる。
- 職業調べや出前講座で様々な職業の方との出会いや体験活動を通して、今まで知らなかった職業を知ったり、自分の夢を見つけられたりした児童が増えた。
- 職業新聞にまとめ友達や家族に紹介することで、情報を整理したり、これからの自分の在り方について考えたりする力がついた。
- 関連する道徳の教材を間に挟むことで、職業を知っただけではなく、仕事の魅力ややりがい、働く人の思いといった内面まで考えることができた。

課題

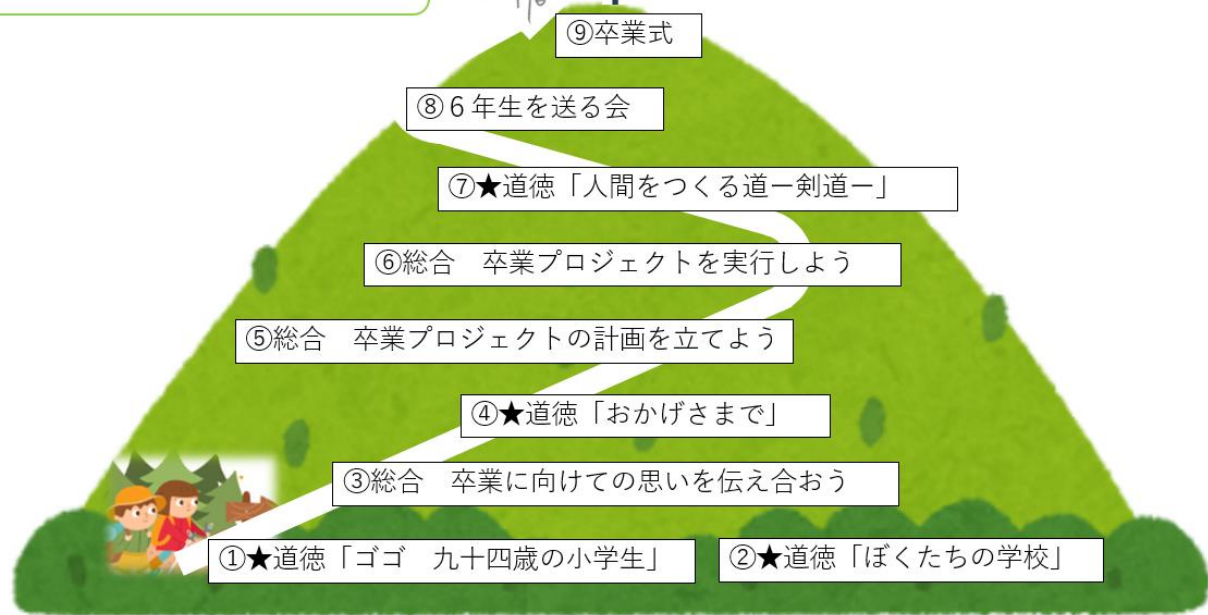
- 職業調べや新聞のまとめ方には、内容に差があった。特に、職業調べでは、こちらでジャンルを分けたワークシート等を準備すると、調べる職業が広がったと感じた。
- より主体的な学びにしていくために、まとめる方法や伝える相手を選択させると、より深い学びになったと思われる。

【6年生の実践②（1～2月実施）】

学習計画（25時間）

| 【テーマ】 感謝を伝えられる卒業式にしよう | | | |
|---|----------------------|----|---|
| 【ねらい】 多くの人に支えられて卒業を迎えられることを知り、感謝の気持ちをもって卒業しようという思いを育む。 | | | |
| 教科等 | 単元名・ 教材名（内容項目） | 時数 | 学習活動 |
| 道徳科 | ゴゴ 九十四歳の小学生 | 1 | ○人間にはよりよく生きていきたいという思いと、それを発揮する強さや喜びがあることを理解し、よりよく生きていこうとする心情を育てる。 |
| | ぼくたちの学校 | 1 | ○学校生活は自分たち一人一人が協力して作っていることを理解し、みんなで協力し合ってよりよい学校を作ろうとする態度を育てる。 |
| | おかげさまで | 1 | ○自分たちの生活が多くのおかげによって支えられていることを理解し、何に対しても感謝の気持ちを忘れずに生活しようとする心情を育てる。 |
| | 人間をつくる道—剣道— | 1 | ○形だけではなく、心が伴ってこそ人間としての「礼儀正しいふるまい」になることに気付き、礼儀正しく真心をもって接しようとする態度を育む。 |
| 総合的な学習の 時間 | 卒業に向けての思いを 伝え合おう | 1 | ○どんな人に支えられて卒業を迎えることができるのかをクラスや学年で話し合う。 |
| | 卒業プロジェクトの 計画を立てよう | 8 | ○思いを伝えるためにはどのような活動がよいかを小グループに分かれて計画する。 |
| | 卒業プロジェクトを 実行しよう | 12 | ○それぞれのプロジェクトで考えた内容をみんなで実行していく。 |
| 学校行事 | 6年生を送る会 | | |
| | 卒業式 | | |

【テーマ】
感謝を伝えられる卒業式にしよう



アンケート結果

| | できた | だいたい できた | あまり できなかった | できなかった |
|---|-------|-------------|---------------|--------|
| 「卒業プロジェクト」を通して、多くの人に支えられて卒業をおかえられることに気付くことができた。 | 79.6% | 20.4% | 0% | 0% |
| 感謝の気持ちを伝えるために、何ができるかを積極的に考えることができた。 | 59.3% | 37.0% | 3.7% | 0% |
| よりよい姿で卒業しようという思いをもつことができた。 | 87.0% | 11.1% | 1.9% | 0% |

成果

- どの項目も、「できた」「だいたいできた」と答えた児童が100%近い。その理由として、総合的な学習の時間に、誰に感謝の気持ちを伝えたいかを学年で交流したことで、多くの人に支えられていることに気付くことができた。さらに、道徳の時間では、感謝の気持ちやよりよい学校をつくらうとする思いを考える活動を継続して行ったことが効果的だったと考えられる。
- 少人数の卒業プロジェクトに分かれることで、お互いの考えを聞きやすくなり、自分の意見を積極的に発言することができる児童が増えた。
- 関連する道徳の教材を間に挟むことで、夢に向かってよりよく生きようとすることのよさを感じていた。

課題

- プロジェクト自体は動いているが、発言が少ない児童も見られ、受け身の活動になってしまっていた。
- よりよい姿で卒業することがどういうことなのか、うまくイメージを掴めない児童も見られたため、より具体的な姿を学年で共有できるような活動や道徳の授業を仕組んでいく必要があった。